

## 男女共同参画に関する国の動向と市町村計画の必要性について

2011年7月18日 新潟県立大学 石川伊織

1. 男女共同参画社会基本法と男女共同参画基本計画
 

2000年に成立した「男女共同参画社会基本法」

  - (1) 第13条；国に「男女共同参画基本計画」の策定を務付け
  - (2) 第14条第1項；都道府県に「都道府県男女共同参画計画」の策定を義務付け
  - (3) 第14条第3項；で市町村に「市町村男女共同参画計画」の策定を義務付け
2. 基本計画（国）の第3次（2010年）改定
  - ・男女共同参画社会基本法の制定に伴い、2000年に最初の男女共同参画基本計画が策定されました。・2005年12月には第2次の改定が行われ、2010年12月には第3次改定が行われています。
  - ・2005年改定では、この年に日本の総人口の減少が始まったという事実を受けて、「男が働いて女が家庭を守る」といういわゆる「日本の伝統」がもはや維持不可能であることをはっきり指摘しています。
  - ・2005年改定ではさらに、2004年の中越地震の反省を踏まえて、防災における女性の役割に注目しました。
  - ・2010年の第3次改定では、(1)実効性のあるプランとするために具体的な数値目標を挙げる、(2)ポジティブ・アクションの推進、(3)ワーク・ライフ・バランス、子育て支援、雇用の促進、セフティー・ネットの構築等の、社会制度や社会構造の変革、(3)国連の女性差別撤廃委員会の指摘を点検しつつ、国際的な概念を重視する、(4)女性に対するあらゆる暴力の廃絶等を強調しています。
  - ・重点項目として新たに加えられたのは、第3分野：男性、子どもにとっての男女共同参画、第7分野：貧困など生活上の困難に直面する男女への支援、第8分野：高齢者、障害者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備、第12分野：科学技術・学術分野における男女共同参画、第14分野：地域、防災・環境その他の分野における男女共同参画の推進の5分野です。
3. 村上市の基本計画改定について
  - ・以上の、国の基本計画改定は、日本の置かれた状況のこの5年間の変化を反映しています。
  - ・この変化は新潟県にとっても村上市にとっても同様に影響を及ぼしています。
  - ・加えて、村上市特有の現実もあります。
  - ・村上市の先行計画の成果を検証して、これを克服する必要もあります。
  - ・市民意識の動向も勘案しないといけません。
4. こうした条件をクリアして、村上市の新しい基本計画に結実させましょう！

## プロフィール

石川伊織

- ・法政大学文学部・社会学部・経済学部・工学部非常勤講師、多摩美術大学非常勤講師、東京電機大学理工学部非常勤講師を経て
- ・1996年県立新潟女子短期大学国際教養学科助教授、2009年新潟県立大学国際地域学部教授
- ・哲学・倫理学、ジェンダー論、グローバルエシックス等を担当
- ・所属学会：日本哲学会・日本倫理学会・日本ヘーゲル学会・社会思想史学会、法政哲学会
- ・1997年—2007年新潟県女性財団企画運営委員
- ・新潟県農林水産部の2001年・05年「にいがた農山漁村男女平等推進ビジョン」策定委員
- ・柏崎市・長岡市・五泉市の男女共同参画条例の策定にアドバイザーとして参加
- ・柏崎市・村上市・五泉市・阿賀野市・妙高市等の男女共同参画基本計画の策定・改定にアドバイザーとして参加

## 主要業績

### 著書

- ・『倫理の危機？——「個人」を超えた価値の再構築へ』単著、2002年5月、廣済堂出版
- ・「芸術は終焉するか？——1820/21年の美学講義を検証する——」『ヘーゲル哲学への新視角』1999年5月、創文社所収
- ・「ヘーゲルの『哲学史講義』——哲学史とは何か」『ヘーゲルを学ぶ人のために』2000年1月、世界思想社所収
- ・『グローバル・エシックスを考える 「9. 11」以後の世界と倫理』2007年10月20日、梓出版社
- ・「鉄道と文学と裏日本」『「裏日本」ルネッサンス』2011年3月、社会評論社所収

### 論文

- ・「オペラ”Curlew River”における能『隅田川』の変容」1998年3月、『県立新潟女子短期大学研究紀要』第36集
- ・「希薄化する身体性のリアリティ」2001年11月、『新潟ジェンダー研究』No.4 ジェンダー視点に立った研究・教育者 ネットワーク（新潟）
- ・「椎名林檎における「歌」の解体と再生」2003年3月、『県立新潟女子短期大学研究紀要』第41集
- ・「柏崎市市民意識調査に見るジェンダー問題」2005年2月、『新潟ジェンダー研究』No.6 ジェンダー視点に立った研究・教育者 ネットワーク（新潟）
- ・「旅の日のヘーゲル——美学体系と音楽体験：1824年9月 ヴィーン——」2007年3月、『県立新潟女子短期大学研究紀要』第45集

### 4 事典・辞典

- ・『アルファ独和辞典』共著、1988年11月、三修社
- ・『ヘーゲル事典』共著、1992年2月、弘文堂
- ・『カント事典』共著、1996年12月、弘文堂
- ・『哲学・思想翻訳語事典』共著、2002年1月、論創社
- ・『現代倫理学事典』共著、2005年12月、弘文堂
- ・『くびき野基本事典』共著、2011年、社会評論社